

みらしるべ

発行責任者 四街道市青少年補導委員連絡協議会
会長 海保 曉美

事務局 青少年育成センター
電話 043(421)7867



大会運営に携わった関係者全員で記念撮影

第五十四回

千葉県青少年補導(委)員大会

令和五年九月三十日、四街道市文化センター大ホールにて、第五十四回千葉県青少年補導(委)員大会が開催されました。

三部ミヨ子県補導会長の開会の言葉に続き、主催者を代表して

県環境生活部生活安全・有害鳥獣担当部長の亀井正博氏より挨拶があり、次に、開催市を代表して鈴木陽介四街道市長から挨拶がありました。

続いて、表彰状・感謝状の贈呈があり、八十七名の方が受賞されました。

その後、補導(委)員事例発表が行われ、四街道市青少年補導委員の萱沼左智子理事と小野好美副理事が「四街道市補導活動の特徴」というテーマで発表を行いました。

続いて、記念講演が行われました。

プロバスケットボールリーグ千葉ジェッツふなばしの佐藤博紀氏が「千葉ジェッツ×千葉県青少年補導(委)員」と題し、千葉ジェッツと子どもたちとの関わりなどを紹介して下さいました。

地域に根ざしたプロバスケットボールチームとして、スポーツを通して地域の為に何がで



講演される千葉ジェッツふなばしの佐藤博紀氏

きるのかを常に考えて、皆で一緒にさまざまな支援を行っていくことが紹介されました。

講演の後半部分では、フィロソフィー(哲学)を持つ事の大事さを紹介されました。

子どもたちが自分の持っている価値に気づき、迷ったときの「みらしるべ」となるフィロソフィーを見つけ出すために、一緒に頑張っていくましようとのエールで締めくくって下さいました。記念講演の後、四街道市青少年補導委員連絡協議会の海保曉美会長から大会決議の提案があり、採択されました。

最後に、来年度開催市である、茂原市青少年補導委員連絡協議会の富田健嗣氏から閉会の言葉があり、大会は終了しました。

市補連 第一回研修会

七月十九日に四街道市補導委員連絡協議会の第一回研修会が青少年育成センターに於いて開催されました。

四街道市青少年育成センター指導主事半田耕之先生を講師にお招きして街頭補導活動の手引き（近年の青少年問題の実態）と題して講演をしていただきました。

講演の内容は

一、私が生徒指導をして感じた中学生像

二、近年の青少年の（非行の）特徴

三、街頭補導の手びき
以上の三点でした。

ゆとり世代やZ世代など良く耳にしますが、各世代によって大切にしているものが異なります。特に多様な価値観を持ち、自分の価値観を大切に思うZ世代への対応は個性の重視が大切になります。また、青少年の非行の内容は従来の飲酒や喫煙などから、SNSを通じて事件に巻き込まれたり、ネット上の誤った情報から大麻取

締法違反等の事件へと移行してきたりしているのが特徴です。

四街道市には八十人の青少年補導委員がおり、挨拶や声かけなど「愛の一声」で青少年を見守る活動をしています。千代田のお子さんは七才の誕生日から一人で登校できるようになったと、喜びの報告がありました。「今後とも、このような喜ばしいエピソードを、沢山紹介してほしい。」との米村青少年育成センター所長の挨拶で研修会を終えました。



第一回研修会で講師を担当した半田耕之指導主事（中央）

小学校終業式での

補導委員活動の紹介



青少年補導委員の活動を紹介しました

七月二十日、旭ヶ丘自治会の「ふれあいパトロール隊」の皆さんとともに、山梨小学校の終業式に伺い、青少年補導委員の活動を紹介させて頂きました。

これからも、地域の皆さんと協力して子どもたちを見守っていききたいと思います。

県下一斉合同パトロール

七月二十八日、四街道市内の四校の高校生も参加して、令和五年

度の県下一斉合同パトロールを実施しました。

参加者は、高校生十三名、高校教諭四名、育成センター職員四名、四街道警察署職員二名、県警北総少年センター職員二名と補導委員十二名の合計三十七名です。

開会行事では、四街道市青少年補導委員連絡協議会の海保会長と青少年育成センター所長から挨拶がありました。

その後、四つのグループにわかれて、参加者の自己紹介が行われ、それぞれのグループでパトロールに出発しました。



高校生と一緒に子どもたちに声かけ

パトロール後は、グループ内で情報交換会が行われ、参加した高校生全員が、感想を発表しました。

高校生からは「最初は緊張したが、だんだんと楽しくなってきた。このような活動が行われている四街道市は本当によい街だと思う。」との声が聞かれました。



県下一斉合同パトロールに参加した高校生と教員の皆さん

ふるさとまつり警備協力

八月十九日と二十日の二日間
にわたって四街道市主催の第三
十二回ふるさとまつりが開催さ

れました。

コロナ禍により、四年ぶりの二
日間開催となりました。

今年は一葉県誕生一五〇周年
記念事業として充実した内容で
実施されました。

祭りは、午後四時に子どもみこ
しや本神輿が桜通りに賑やかに
繰り出しスタートを切りました。
久々の笛や太鼓の音に神輿を
担ぐ若者は、どの顔も喜びにあふ
れていました。

メイン会場では踊り連の浴衣
姿もあでやかに四街道音頭が繰
り返し流されて、お年寄りや子ど
もまで踊りの輪に自然と加わっ
ていきました。

また、新しい四街道エビバデ音
頭のお披露目もあり、大いに盛り
上がりしました。

障がい者アートを活用したチ
ヤリティTシャツや約三百個の
協賛提灯、準備を重ねた未来ふる
さと提灯、スカイランタンなど、
新たな取り組みが目を引きまし
た。久々に遊歩道の両側にさまざ
まな屋台が並び、多くの人々の笑
顔でにぎわったふるさと祭りだ
した。

私たち青少年補導委員は二班

構成で、交代で会場内の巡回やゴ
ミ拾い、来場者の案内など精力的
に活動を行いました。



ふるさとまつりで会場内の巡回・ゴミ拾いへ

青少年育成センター

所長あいさつ

子どもたちの豊かな成長を
願ってかける「愛の一声」

日頃より、青少年補導委員の皆
様には、補導活動や環境浄化活動
を通して、青少年の健全育成に

尽力頂きありがとうございます。

四月より、青少年育成センター
に着任し半年が経ちましたが、補
導委員の皆様は活動からは、青少
年を守るうとする強い愛情を、ま
た、その愛情を注がれた青少年か
らは、明るく前向きに生きようと
する活力を感じています。

本市の青少年補導委員連絡協
議会には、「愛の一声（こえ）」と
いう愛唱歌があります。私は、
二番で語られる「春夏秋冬 今日
もまた」という歌詞が特に好きで
す。その言葉からは、補導委員の
皆様を中心とした四街道市民の
方々が、暑い日も寒い日も常に子
どもたちを見守り、その成長を心
から願う姿がはっきりと思ひ浮
かぶからです。

子どもたちは大人の背中を見
ながら育ち、大人の言葉や笑顔か
ら安心感を得たり自信を身に付
けたりしていきます。これからも
青少年補導委員の皆様のお力添
えをいただきながら、青少年育成
センター職員一同、青少年の健全
育成の為に精一杯取り組んでま
いります。

第12期青少年補導委員 80名

	四街道中学校区		千代田中学校区		旭中学校区		四街道西中学校区		四街道北中学校区	
1	齊藤 紅也	教	名取 高	教	齊藤 貴文	教	坂部 健人	教	平野 敦也	教
2	小島 佑一	教	細川 卓翁	教	向後 論	教	佐藤 円	教	渡辺 真也	教
3	霜下 嵩之	教	細川 哲洋	教	宇野 弘人	教	中野 勝司	教	長岡 洋平	教
4	稲葉 愛	P	安藤 展子	P	平澤 昭臣	教	藤井 一稀	教	塚越 昭広	教
5	神谷 麻里	P	小林 康子	P	並木 拓也	教	古賀 奈緒	P	富樫 雅哉	教
6	石橋 守	P	黒坂 里香	P	鈴木 啓子	P	勝野 聡	P	住田 将	教
7	吉橋 朋子	般	中村 よし子	般	境野 明日香	P	栗原 孝子	般	平林 智之	P
8	萱沼 左智子	般	北野 美子	般	清宮 将生	P	神尾 和子	般	福田 裕子	P
9	小野 好美	般	山口 久美子	般	栃木 麻里子	P	池口 貞吉	般	小川 久美子	P
10	清水 清子	般	須郷 恭子	般	三浦 紀子	P	駒澤 廣男	般	加藤 志織	P
11	西塚 義尊	般	西村 景子	般	海保 曉美	般	関根 登志夫	般	岩瀬 雄三	般
12	西塚 実香	般	山川 郁子	般	篠崎 有里	般	指田 紀男	般	佐藤 知正	般
13	山崎 陽子	般	木下 多紀子	般	大沼 滋子	般	近内 忠善	般	荒張 由美子	般
14	田中 徳彦	般	長谷川 睦美	般	福本 誠三	般			田中 良枝	般
15	小川 雅章	般	只縄 治幸	般	石橋 紀子	般			吉田 恵一	般
16			荻原 好光	般	岩崎 裕美	般			佐藤 真紀子	般
17					大越 登美子	般			笛木 光夫	般
18					橋本 力三	般				
19					馬場 光広	般				

【県役員退任の紹介】

千葉県青少年補導員連絡協議会の監事を努められていた、中村よし子さんが、このたび県監事を退任されました。長きにわたり、県補連の運営、大変にお疲れ様でした。引き続き、市補連でご活躍頂きます。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が五類に指定されたことにより、マスクを外す人が散見されるようになりました。コロナ禍後初となる四街道市ふるさと祭りも盛大に開催されるなど、日常生活を取り戻しつつあります。

九月には当市にて開催された千葉県青少年補導員大会も大成功に終わることができました。今後も健康管理に注意を怠らず、お互いに励まし合って元気に生活しましょう。

広報委員 笛木光夫

四街道市

青少年育成センター

からのお知らせ

青少年の皆さんが日頃抱えるストレスを解消し、リラククスできる場所として、当施設二階のオープンスペースを開放しております。

市内在住あるいは在学の二十歳未満の方であれば、個人でもグループでも、卓球や読書、自習や談話などに利用することができます。気軽にご利用ください。

【問い合わせ】

☎〇四三（四二一）七八六七

【利用時間】

月曜日～金曜日（平日のみ）

午前九時～午後五時

会議等で使用時は利用できません。



四街道市青少年育成センター